

研究課題番号	SⅡ-6
研究課題名	水俣条約の有効性評価に資するグローバル水銀挙動のモデル化及び介入シナリオ策定
研究実施期間	2020年度～2022年度
研究機関名	京都大学
研究代表者名	高岡 昌輝

1. 委員の指摘及び提言概要

水銀の水俣条約の検証と今後の趨勢に関する広範囲の研究をマネジメントした結果であり、目標を上回る意義ある成果を上げている。各テーマの成果である、規制後の個々の発生源の水銀排出量推定から全球モデルによる水中水銀濃度予測による生物蓄積性推定などに基づき、ヒトへのメチル水銀曝露の将来予測までをスムーズにまとめ、特に優れた成果を上げている。研究成果はすでに行政の委員会、国際機関への貢献や国民との対話などへの貢献として活用されている。最大の排出源である ASGM について、推定水銀消費量と金生産に伴う水銀消費量に顕著な差のあることを明らかにしており、水銀発生量の多い開発途上国への支援などで今後の水銀対策に寄与する成果が得られている。気候変動との関わりを含めた研究の精緻化を今後も進めていくことを期待する。

2. 採点結果

評価ランク：S